



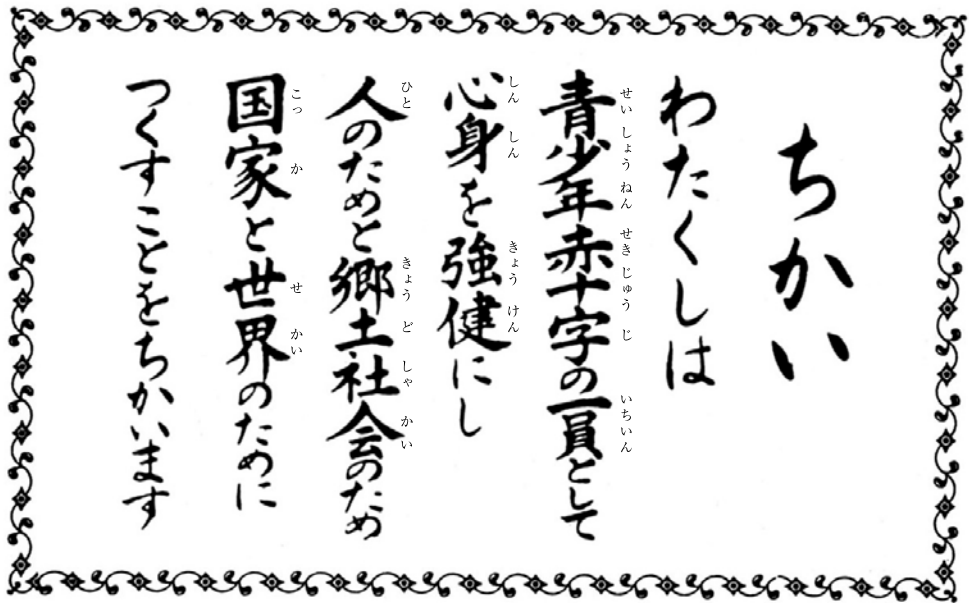
Guide Book Junior Red Cross

青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター ガイドブック

小学生



J. Henry Driessens



もくじ

03	1 ^{たの} 楽しいトレセン
04	2 トレーニング・センターの特ちょう ^{とく}
05	3 成功 ^{せい こう} のひけつ
06	4 生 ^{せい} 活 ^{かつ}
06	①ホームルーム
07	②ホームルーム ^{れんらく かい ぎ} 連絡会議
08	③先見 ^{せん けん}
09	④ボランティア・サービス(V・S)
10	⑤つどい
11	⑥フィールドワーク(F・W)
12	⑦ワークショップ(W・S)
13	連絡 ^{れんらく けい じ ばん} (掲示 ^{かつ ぼう} 板 ^{ばん} の活用)
14	旗 ^{はた} のあげ方 ^{かた}
16	5 生活 ^{せい かつ} の記録 ^{き ろく} と設計 ^{せつ けい}
21	6 学習 ^{がくしゅう} 資料 ^{し りょう}
21	アンリー・デュナンから学 ^{まな} ぶ
22	ジュネーブ諸 ^{しよじょうやく} 条約
23	空 ^{そら} は世界 ^{せ かい} へ
24	青 ^{せい} 少年 ^{しやうねん} 赤 ^{せき} 十字 ^{じゆうじ} の歌 ^{うた}

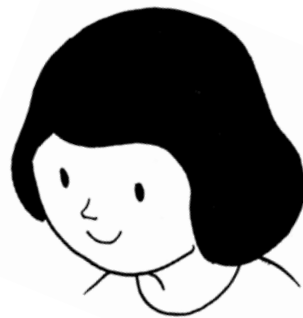
楽しいトレセン

さあ、楽しいトレセンの始まりです。

トレセン、正しくは「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」といいます。

開会式のあと、一番はじめに覚えておかなければならないことは、毎日のプログラムのことです。次にこのトレセンが、どんな目的で、どのように用意されたか、また、会場の食堂、トイレ、お風呂、寝室などの場所や使い方も十分知っておくことが大切です。説明を聞いたら、あとで自分で確かめておきましょう。

これらのことは、はじめての友だちと、はじめての場所で、これからいっしょに新しい生活をするについて、あなたの心にある「不安」を取りのぞいてくれます。



わたしたちは学校でも家庭でもひとりで生きているわけではありません。先生や友だち、両親、兄弟姉妹などみんながおたがいに助け合って生活しています。そして、ひとりひとりがそれぞれ何かの役割をもって、あるときはリーダーになり、またあるときは協力者としてささえあっています。

共同生活をするとき、ひとりひとりが大切になれ、それぞれが得意なことでみんなのために役立つことができれば、どんなに楽しく明るい生活がおくれることでしょう。

そのような生活をするためには、リーダーや協力者としての技術や考え方を学習し、ためてみる必要があります。

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターでは、赤十字の心とそれにそった活動、そしてグループをうまくまとめていくのに必要なリーダーシップについて学習します。

トレセンは何を^{なに}するところか^わかりましたね。

あなたが、なに^{なに}ごとにも積極^{せっきよく}的に取り組^{とく}んでくれることを約束^{やくそく}するならば、スタッフ一同^{いちどう}から、あなた^{あなた}に充実^{じゅうじつ}した楽しさ^{たの}さをプレゼント^{たの}しましょう。

積極^{せっきよく}的にチャレンジ^{チャレンジ}することにより、あなたはこれまでとは^{たの}ちがった楽しさ^{けいけん}を経験^{しけん}することが^とできるでしょう。

未知^{みち}の友^{とも}、未知^{みち}の自分^{じぶん}との出会い^{であ}いを求めて！ 出発^{もと}進行^{しゅっぱつしんこう}！！

2 トレーニング・センターの特ちょう

1. 朝^{あさ}起きてから夜^{よる}ねるまで、一日^{いちにち}中^{じゅう}が研^{けん}修^{しゅう}です。食^{しょく}事^じ、学^{がく}習^{しゅう}、運^{うん}動^{どう}、つどい、会^{かい}議^ぎなど、すべてが研^{けん}修^{しゅう}です。

8:00 12:00 22:00



2. ちがった^{がっ こう}学校^{がっこう}、ちがった^ち地^{あつ}いきから集^{あつ}まった、児^じ童^{どう}も、そして先生^{せん せい}も、多^{おほ}くの人^{ひと}がいっしょに生活^{せい かつ}します。

3. ひとりひとりが、これまで^{じ ぶん}の自分^{せい かつ}の生活^{せい かつ}をふりかえり、新^{あた}しい生活^{せい かつ}への工夫^{く ふう}をします。



このトレーニング・センターは、皆^{みな}さんのお父^{とう}さんやお母^{かあ}さんたちが「日本^{にっぽん}赤^{せき}十字^{じゅうじ}社^{しゃ}の会^{かい}員^{いん}」として出^だしてくださったお金^{かね}で運^{うん}営^{えい}されています。
※平成^{へいせい}29^{ねん}年度^どより、「社^{しゃ}員^{いん}」を「会^{かい}員^{いん}」と改^{あらた}めたこと。

いろいろな地域^{ち いき}から多くの友だち^{おお とも}が集まって生活^{あつ せいかつ}します。きっとさまざまな問題^{もんだい}が出てくるでしょう。

つぎ^{つぎ}のことを自分で自分に「約束^{やくそく}」し、守^{まも}ることが大切です。それがトレーニング・センターを成功^{せいこう}にみちびくひけつです。

- ① だれも号令^{ごうれい}をかけない、かけられない生活^{せいかつ}をします。

- ② ふんまえこうどう
5分前行動^{ふんまえこうどう}をします。

- ③ なに^{なに}もものを決めるときは、すぐ先生^{せんせい}にたよらないで、できるだけ自分たち^{じぶん}で考え^{かんが}、決めるようにします。

- ④ すべての研修^{けんしゅう}は、自分^{じぶん}から進^{すす}んで取り組^{とく}みます。

- ⑤ みんなのために、自分^{じぶん}でできることを進^{すす}んでやります。これをボランティア・サービス(V・S)といいます。

- ⑥ ちゅうい^{ちゅうい}ぶか^{ぶか} せいかつ^{せいかつ} 注意^{とけい}深い生活^{けい}をします。時計^{けい}や掲示板^{じばん}をいつも見るくせをつけます。人^{ひと}の話^{はなし}をよく聞き^き、わからないことは質問^{しつもん}をします。



やくそく まも せい かつ たの じゅうじつ
約束を守って生活をすれば、楽しく充実したトレーニング・センターになります。

どんなにむずかしい問題にぶつかっても、はじめからあきらめたり、先生にたよったりしないで、自分の頭で考えて、勇気をもって発表しましょう。できるだけ自分たちの力でやりぬくことです。それが成功したとき、この経験はあなたの大きな自信となります。

ここには、みなさんが不自由なく生活ができるよう、材料がそろえてあります。これを使いこなして、より快適な生活を作り出すのはあなたの役割です。

別に配られた「日程表」と照らし合わせながら次を読みましょう。

1

ホームルーム

べん きょう がっ こう き づ なん
勉強のこと、学校のこと、きょうのできごとや気付いたことなど、何でもうちとけて話し合う時間です。

さいしょ たが し じ こしょうかい
最初のホームルームではお互いを知るために自己紹介をします。

あた とも かんが かた こうどう り かい
新しい友だちをつくり、ひとりひとりの考え方や行動を理解するようにつとめましょう。

れんらくかい ぎ しゅつせき れんらくいん き れんらくいん し かい はな あ すす
ホームルーム連絡会議に出席する「連絡員」を決め、連絡員の司会で話し合いを進めます。

いちにち もんだい かいけつ
一日をふりかえてみて、もし問題があれば、それを一つずつ解決します。

じ ぶん かいけつ もんだい じ ぶん かいけつ じ ぶん かいけつ
自分たちのホームで解決できる問題は、自分たちで解決します。もちろん、自分で解決できることは、自分でやります。

ぜんたい かんが れんらくかい ぎ はな あ
全体で考えなければならないことは、ホームルーム連絡会議で話し合います。

せんせい そうだん じょ げん し じ めいれい
ホームルームの先生は、みなさんの相談にのり、助言をしてくれますが、指示や命令はしません。

2

ホームルーム連絡会議

各ホームルームの連絡員が、ホームルームの時間に出された問題の中で、トレーニング・センター全体に関わりのある問題を持ちより、ここで話し合っ、調整、解決をします。

ホームルーム連絡会議では必要に応じて次のようなことをします。

1. 「日直」の選出
2. 日程の反省
3. ホームルームから出されたことからの調整、解決
4. 本部に対する要望
5. 本部からの連絡



ホームルーム



ホームルーム

◎「日直」の役割

- ・ホームルーム連絡会議の議長
- ・次の日のまとめ役
- ・本部との連絡



ホームルーム

ホームルーム
連絡会議

3

先 見

静かに自分を見つめる時間です。

団体生活の中では、自分ひとりで、静かに学習や生活のことを考えることが少なく、とかく自分を見失いがちになります。そこで、この時間はしっかり自分を見つめ、自分と向き合います。この時間を自分のものにできるようつとめましょう。

1. トレーニング・センターをよりよいものにするために、「自分^{じぶん}はみんなのためにどんなことができるか^{かんが}」を考えます。また人で手がたりなければ協力者の募集も考えます。このことはボランティア・サービス(V・S)カード^{せいり}で整理します。

2. 自分の健康^{けんこう}について、「健康カード^{けんこう}」に記入^{きい}します。団体生活をする場合には、健康^{けんこう}に注意することがひじょうに大切です。病気^{びやうき}になったり、けがをし^したりすると、自分が苦しむばかりでなく、他の人にもめいわくをかけます。

3. これらのことを早く^{はや}すませて、残り^{のこ}の時間^{じかん}は学習^{がくしゅう}をします。資料^{しりょう}をよく読んで内容^{ないよう}をまとめるのも大切なことです。

健康調査カード

が 月 日 ホーム・ルーム

なまえ
名前:

ちようしよく ぜんぶ た のこ
朝食は 全部食べた 残した

きのう
昨日は よくねむれた ぶつう
ねむれなかった

たいちよう
体調は よい ぶつう だるい

きぶん
気分は よい ぶつう わるい

ようべん
用便は あった なかった

げり
下痢を している していない

4

ボランティア・サービス(V・S)

ボランティア・サービス(V・S)とは、決められた時間^{き じ かん}にだけ行うものではなく、いつでも、どこでも、みんなのためになることを自分^{じ ぶん}から進^{すす}んで行うことです。

先^{せん}見^{けん}の時^{とき}(またはホームルームの時間^{じ かん})に書いたV・Sカードは、ホームルームの先^{せん}生^{せい}から「〇〇先生^{せんせい}のところに相談^{そう だん}にいくこと」と記入^{き じ り}して返^{かえ}されます。

このカードを持って〇〇先生^{せんせい}のところに相談^{そう だん}にいきます。

〇〇先生^{せんせい}にカードを見ていただき、ひとり^{ひと}でできることはすぐ行動^{こう ぐ}に移^{うつ}します。

ひとりでできないことは、手^てを貸^かしてくれる人^{ひと}を探^{さが}して、協力^{きょうりょく}してもらいましょう。



トレーニング・センターは、大ぜい^{おお}で生活^{せいかつ}をしていますから、この生活^{せいかつ}をたのしい生活^{せいかつ}にしていくのは参加者^{さん 加}ひとりひとりのつとめです。おたがい^{おたがい}が、集団生活^{しゅう だん}に責任^{せきにん}をもち、トレーニング・センターをすごしやすい場^ばにしておくためには、きめられたことを守^{まも}るだけでなく、自分^{じ ぶん}で気づいたことは、すす^{すす}んで実行^{じっ ぎょう}することが必要^{ひつ よう}です。これがボランティア^{じょうけん}の条件^{じょうけん}です。

青少年赤十字^{せいしやうねんせきじゅうじ}というボランティア・サービスとは、必要^{ひつ よう}なことを自分^{じ ぶん}からすす^{すす}んで行うことです。それも相手^{あいて}の立場^{たち ば}に立^たって、活動^{かつ ぐう}することをいいます。こうしたボランティア・サービスはきめられた時間^{じ かん}だけではなく、どんな時^{とき}でも、どんなところでも(トレーニング・センターだけではなく、学校^{がっこう}や地域^{ち い き}でも)、必要^{ひつ よう}に応じてするものです。

5

つどい

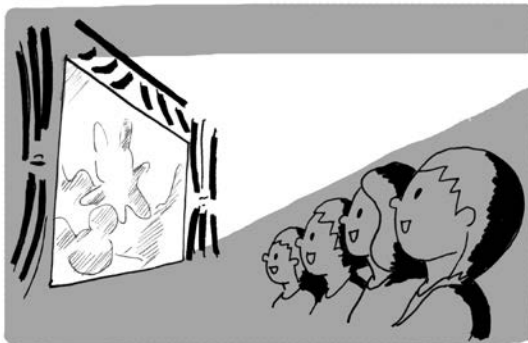
人が集まる^{ひと あつ}ところには和^わがあり、笑い^{わら}があつて楽しさ^{たの}があります。

つどいの時間^{じ かん}は短く^{みじか}ても、簡単^{かん たん}なレクリエーションや歌^{うた}、フォークダンス、スポーツなどを工夫^{く ふう}しておりこみ、一日^{いち にち}のスタートを切^きったり、しめくくり^{たの}をしたりする楽しいひとときをつくりだすことができるでしょう。

朝のつどい

真^まっ青^{さお}な空^{そら}にはもう太陽^{たいよう}がさんさんとかがやいています。

すがすがしい朝^{あさ}の空気^{くう き}を胸^{むね}いっぱい^す吸^みって、身^みも心^{こころ}もさわやかな目ざめ^めを迎^{むか}え、きょう一日^{いちにち}を豊^{ゆた}かにすぞす誓^{ちか}いをします。



夜のつどい

誕生会^{たんじょうかい}、映画^{えい が}、フィールドワーク^{はっぴょう}の発表^{はっぴょう}など^{おごな}を行い、楽しい学^{たの}習^{がくしゅう}の時間^{じ かん}にします。

6

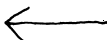
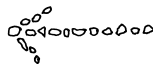
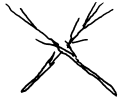
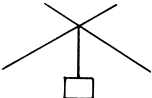
フィールドワーク (F・W)

この日まで学習してきたものを復習するためのプログラムです。

決められた指示(ルール)にしたがい、一定のコースをグループに分かれて行動します。そこには、いくつかの関所(チェックポイント)があり、学習の度合いや協力性、リーダーシップなどがためされます。

豊かな自然に親しみながら、思うぞんぶんすんだ空気と大地の感しよくを楽しみましょう。

フィールドワークのサイン サインのそばに赤十字マーク・日づけをつける。

やじるし 矢印の ほうこう 方向に進め	 チョークで道ばたの電柱、石、木のかぶに、注意ぶかく小さくかく。	 枯れ枝で矢印を作り、車や他の通行人に、こわされないように置く。	 こいし なら 小石を並べる
	 ケルンを積む	 木に枯れ枝をかける	
この道ではない。ほかの道のサインをさがせ	 チョーク等で×をかく	 小枝を×に組む	 こいし なら 小石を並べる
この方向 〇〇メートルに 手紙がある	5 M → 道ばたの動かない石、または木のかぶにハッキリかく		
その他の サイン	 目的地が遠い	 目的地が近い	5 分 休憩5分  危険近づくな

7

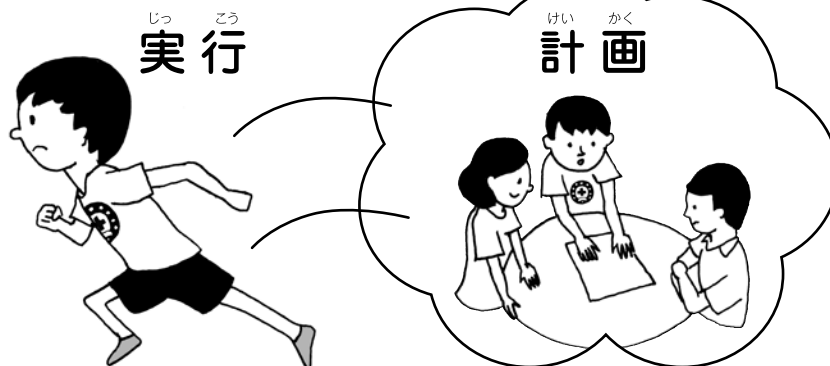
ワークショップ (W・S)

せいしやうねん せきじゆう じ かつ どう ぐ たい てき けい かく つく じ かん
 青少年赤十字(JRC)活動をするための、具体的な計画を作る時間です。

ひとり^{けい かく}で計画^{ば あい}をたてる場合と、グループ^{きやうりよく さぎやう}で協力^{ば あい}して作業^{むつ かんが}する場合があります。

「いつ」、「どこで」、「だれが」、「何を」、「なぜ」、「どのように」、の六つを考え、活動^{どうけい かく}計画^{つく}を作ります。

せん せい が た そう だん じょ
 スタッフの先生方によって「相談所」が
 ひら 開かれますので、自分^{じ ぶん}の考え^{かん}がまとまった
 そう だん
 ら相談^{そう だん}してみることにしましょう。



連絡(掲示板の活用)

参加者に必要なことがらは、掲示板によって伝えられます。

放送は緊急の連絡以外には使いません。

掲示板で連絡する理由は次のとおりです。

1. 大きな声を上げたりせず、静かな生活を守ることができる。
2. 掲示板を見る習慣を身につけることにより、よく気がつき注意深くなる。
3. 放送などの声による連絡はすぐ消えてしまい、正しく伝わらないおそれがある。



掲示板の連絡をよく読んで行動しましょう。大切なことはきちんとメモをして、まちがいのない行動がとれるようにしましょう。一日に数回、時間を決めて見るくせをつけましょう。

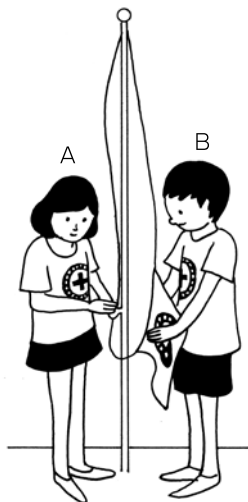
あなたも他の人に連絡したいことがあったら掲示をして下さい。

その時は、みんなが読んでよくわかるように、しかも見やすいように工夫をしましょう。掲示をした人の名前と、掲示を出した時間も記入します。

旗のあげ方

1

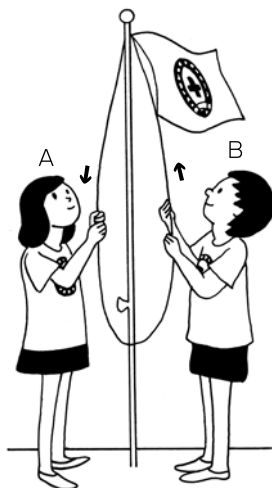
二人であげるのが普通で、ポールに向って、Aが左、Bが右で2人ならびBが旗をもち、Aがロープをつなどめからはずし、二人でロープに旗をつけます。この場合、決して旗のはしが地面を引きずることのないよう気をつけます。また、ポールに向って右側のロープに旗をつけ、旗がついたら、Aはあまりのロープをつなどめにまき、Bはロープに旗をはさんで広がらないようにしておきます。このようにあらかじめ用意をしてから、旗をあげる合図を待ちます。



- 旗のはしが地面を引きずることのないよう気をつけます。
- あらかじめ用意をしてから、旗をあげる合図を待ちます。

2

合図があったらポール前に二人がならび、Aがロープをほどこき、つながからまっていなかったら確かめてから、引きづなをAが、旗のついているあげづなをBがもって立ちます。音楽や歌に合わせてあげる時は、ここで音楽または歌を始め、終わるまでに上のかっ車にとどくよう同じ速度であげます。はやくなったり、おそくなったりしないよう気をつけましょう。音楽が終わっても、まだ旗が上のかっ車にとどかないことがないように旗があがる速度を調節します。Bは旗がロープにからまないよう気をつけ、なるべくポールにそって旗があがるよう注意します。

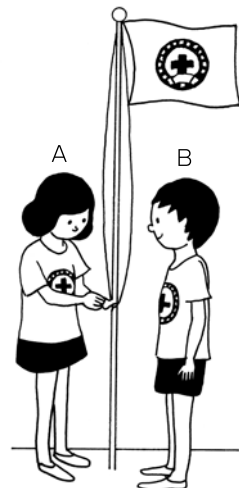


- 旗をあげる時の速度に注意しましょう。
- 旗がロープにからまないよう気をつけ、ポールにそって旗をあげましょう。

3

あげ終わったら、Aは引きづなをつなどめに2・3回まきつけてから、Bのあげづなといっしょに8の字につなどめにまきます。このようにすると強い風の時も半旗(注)にならずにすみ

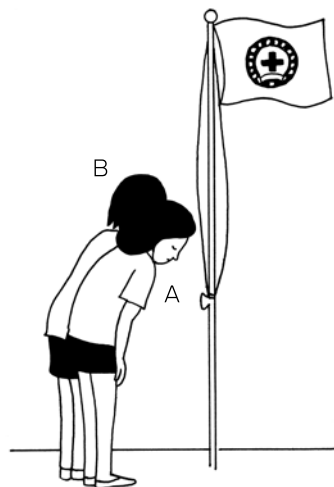
(注) 半旗というのは、死者をいたみ悲しむ気持ちであらわす旗のあげ方で、ボールの先の玉から20cmほど旗を下げてあげることです。



- まずひきづなをとめてから、あげづなとともに8の字につなどめにまきます。
- 半旗にならないようにきちんとつなをとめましょう。

4

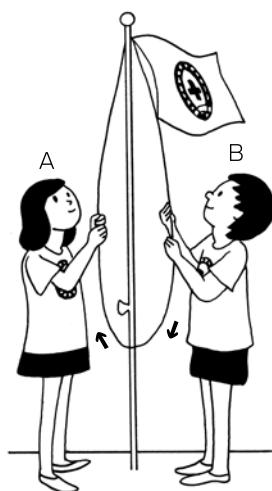
AとBはならんで、旗にたいし、
一礼をしてもとのところへかえります。



- 一礼をしてもとのところへかえります。

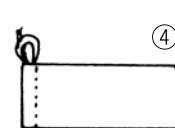
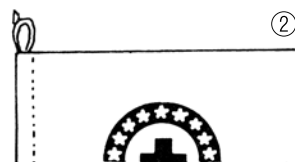
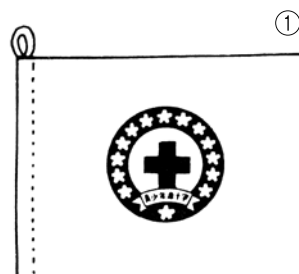
5

旗をおろす時は、AとBでAがつな
どめからロープをほどき、二人がロー
プをもってBがロープを引いておろし
ます。旗がおりた時、地面を引きずら
ないように注意し、旗を二人ではずし、
Aがロープをつなどめに固くまいて
とめます。旗をきちんとたたみ、保管
場所におきます。



- 旗をおろした時も旗が地面に引きずることのないように気をつけましょう。
- 旗はきちんとたたんで保管しましょう。

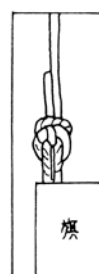
旗のたたみ方



両はしをもって
たたみます。



旗の下部ロープのつなぎ方



旗の上部ロープのつなぎ方

だい にち
第1日(その1)

がつ 月	にち 日	よう び 曜日	てん き 天気
さあ、トレーニング・センターがはじまりました。いま、どんな気持ちかな？ まわにいる人のことをよく知り、友だちになろう！ その前にまず自分自身のことをよく知ることが大切です。 そして、自分のことを友だちに知ってもらう努力をしましょう。			
わたしは こんな人 自分のここが好き これだけはなoshたい			
わたしがっこう 私たちの学校 じまんでできること せいしょうねんせきじゅうじ かつどう 青少年赤十字の活動			
わたし いま き も 私の今の気持ち			
このトレーニング・センターでの私の目標			

※このページはオリエンテーションの時、または最初のホームルームで書きます。

Junior Red Cross

だい にち
第1日(その2)

がつ 月	にち 日	よう び 曜日	てん き 天気
せん けん 先 見 いちにち きょう一日をわたしはこのように す 過ごしたい。			
せいかつ きろく 生活記録 きょうしたこと わかったこと、わからなかったこと			
とも 友だちのしたことでよいと思ったこと、 おも 見 み ならいたいこと			
おこな ボランティア・サービスで行ったこと			
せいかつ はんせい 生活の反省			
あ す か だい 明日の課題			

※せんけん先見のところは「せんけん先見の時間」に記入しましょう。 ※せいかつ きろく生活の記録以下は1日の終わりににち お か書きましょう。

だい にち
第2日

がつ 月	にち 日	よう び 曜日	てん き 天気
せん けん 先 見 きょういちにち きょう一日をわたしはこのように過すごしたい。			
せい かつ き ろく 生活記録 きょうしたこと わかったこと、わからなかったこと			
とも 友だちのしたこととよいとおもったこと、みならいたいこと			
ボランティア・サービスでいったこと おこな			
せい かつ はん せい 生活の反省			
あ す か だい 明日の課題			

せん けん せん けん じ かん きにゆう せい かつ き ろく い か にち お か
※先見のところは「先見の時間」に記入しましょう。 ※生活の記録以下は1日の終わりに書きましょう。

Junior Red Cross

だい にち
第3日

がつ 月	にち 日	よう び 曜日	てん き 天気
せん けん 先 見 いちにち きょう一日をわたしはこのように す 過ごしたい。			
せいかつ きろく 生活記録 きょうしたこと わかったこと、わからなかったこと			
とも 友だちのしたこと おも でよいと思ったこと、 み 見ならいたいこと			
おこな ボランティア・サービスで行ったこと			
せいかつ はんせい 生活の反省			
あ す か だい 明日の課題			

※せんけん先見のところは「せんけん先見の時間」に記入しましょう。 ※せいかつ きろく い か生活の記録以下は1日の終わりに書きましょう。

Junior Red Cross

さいしゅうび
最終日

が 月	に 日	よう び 曜 日	てん き 天 気
たの 楽しかったトレーニング・センターも、いよいよお 終わります。 トレーニング・センターは終わりますが、新しい自分を見つけた君の、新しい生活が今から始まります。 まな 学んだことをまとめ、自分のこれからの生活の設計図を作りましょう。			
このトレーニング・センターではっきりつかんだこと			
いちばんかんげき 感激したこと			
わたしはトレーニング・センターでまな 学んだことをもとにして がっこう 学校ではこのようにしたい じぶん せいかつたいど 自分の生活態度をこのようにしたい せいしゅうねんせきじゅうじかつどう 青少年赤十字活動をこのようにしたい			

さいご ※最後のホームルームの前までに書きましょう。

1 アンリー・デュナンから学ぶ^{まな}

せきじゅうじ そうりつしゃ
赤十字の創立者アンリー・デュナンについて
がくしゅう
学習しましたね。

つぎ こうもく
次の項目についてまとめてみましょう。



①デュナンは何^{なに}について1冊^{さつ}の本^{ほん}にまとめたのですか。

②デュナンが本^{ほん}の中^{なか}で強くうったえたことを2つ^{つよ}書^かきましょう。

(1)

(2)

③デュナンの生き方^いについてあなたはどうおもいますか。^{かた おも}

④もしあなたがデュナンだとしたらどうしますか。

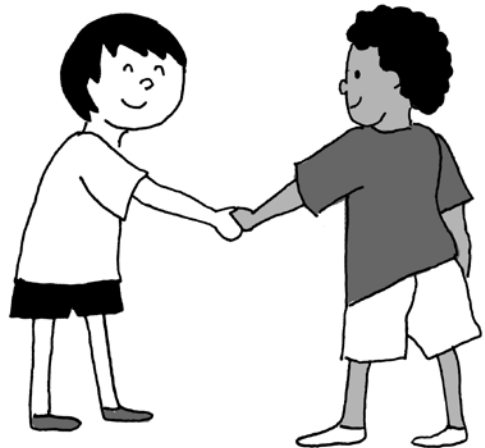
2 ジュネーブ諸条約

人間はだれでも、よいことをしたい、こまっている人がいれば助けてあげたい、という思いを持っています。そのことを国際的な約束にして、正しいこと、やさしいところづかいを教え、守れるようにしたのがジュネーブ諸条約です。

この、ジュネーブ諸条約の内容を考えついた人が、アンリー・デュナンです。このことを考えたデュナンをたたえ、第1回ノーベル平和賞がおくられました。

ジュネーブ諸条約には次の4つの約束があります。

- 1 陸戦の条約
- 2 海戦の条約
- 3 ほりよの条約
- 4 文民の条約



これらは次のことを教えています。

- *約束はかならず守りましょう。
- *約束や決められたことは、だれよりも自分から守るようにしましょう。
- *他人が悪いことをしたからといって、自分も悪いことをしてはいけません。

このことは、みなさんが生きていく上で、守るべきルールです。

そら せ かい
空は世界へ

杉江健次 } 作詞
杉江健介 }
橋本国彦 } 作曲

そーらは せかいへ つづいてる

そーらは せかいを だいてる みんな

ごらんよ あの一そらをー

そーらが ぼくらのわたしらの ところよ

ところよ しょうねん せきじゅう じー

そら せかい
空は世界へ

- 一、空は世界へ つづいてる
空は世界を だいてる
みんなごらんよ あの空を
空が僕らの 私らの
ところよ心よ 少年赤十字
- 二、花はだれにも 匂つてる
花はやさしく 匂つてる
みんなごらんよ あの花を
花が 僕らの 私らの
すがたよ姿よ 少年赤十字
- 三、星はどこでも 光つてる
星は仲よく 光つてる
みんなごらんよ あのを
星が 僕らの 私らの
ほこりよ誇りよ 少年赤十字
- 四、旗は十字の 愛の旗
旗はかがやく 愛の旗
みんなごらんよ あの旗を
旗が 僕らの 私らの
しるしよしるしよ 少年赤十字

せい しょう ねん せき じゅう じ うた
 青少年赤十字の歌

田中進兵衛 作詞
 山田耕筈 作曲

あけそめる おお ぞらに みなぎる ひかり あふれるいのち

われらわ こう ど ーわれら わ こう ど ー け

ん こう のあ しなみそろ え すすむの だか がやくみちを

ひ と す じ ーに か が や く み ち ー を ー

せい しょう ねん せき じゅう じ うた
 青少年赤十字の歌

一、 明けそめる 大空に

みなぎる光 あふれるいのち
 われら若人 われら若人

健康の足並そろえ
 進むのだからがやく途を
 ひとすじに かがやく途を

二、 さしのべる手を組んで

あわせる力 つらぬくまこと
 われら若人 われら若人

清純のちかいにこぞり
 尽くすのだから世界のために
 人のため 世界のために

三、 海こえて へだてなく

呼び合う心 ゆき交うこたま
 われら若人 われら若人

親善の結びもかたく
 仰ぐのだから十字の旗を
 ひるがえる 十字の旗を

青少年赤十字
リーダーシップ・トレーニング・センター
ガイドブック小学生

平成 2 年6月25日 初版発行

令和 3 年1月31日 12版5刷発行

編集者 日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課

〒105-8521 東京都港区芝大門1丁目1番3号

電話 03-3437-7083

FAX 03-3432-5507

ホームページ <http://www.jrc.or.jp>

発行所 株式会社日赤サービス

